

青森県農業信用基金協会

1 青森県の気候・風土について

青森県は、本州の最北端に位置し、北は津軽海峡を隔てて北海道と相對し、東は太平洋、西は日本海と三方を海に囲まれ、南は秋田県・岩手県に接しています。面積は、9,646km²（全国第8位）ですが、人口密度は全国第41位となっており、我が国の中では広大で豊かな自然が残っている地域に属します。

中央の奥羽山脈を境として、東部地域（通称県南地域）では、火山灰に覆われた台地や段丘が広く分布するのに対し、西部地域（通称津軽地域）では、広大な沖積低地と出羽山脈の延長にある山地が大部分を占めています。

本州最北端にあるため、冷涼型の気候であり、短い夏と長い冬が特色です。また、山脈、半島、陸奥湾など複雑な地形や海流の関係で、夏季は、北太平洋に発達する高気圧により、東部地域では春の終わりから夏にかけて偏東風（通称ヤマセ）が吹き込むため、低温の日が多く、冷害に見舞われやすい一方で、西部地域は一般的に気温が高く、比較的気象に恵まれています。

冬季は、大陸高気圧の影響により北西の



出典：青森県

季節風が卓越するため、西部地域は気候不良で多雪となりますが、東部地域は冷え込みが厳しいものの、西部地域に比べると晴天の日が多く、降雪量も少なくなっています。

同じ県内でも東部地域と西部地域では、その様相、方言、気質を異にしていることも特徴的です。

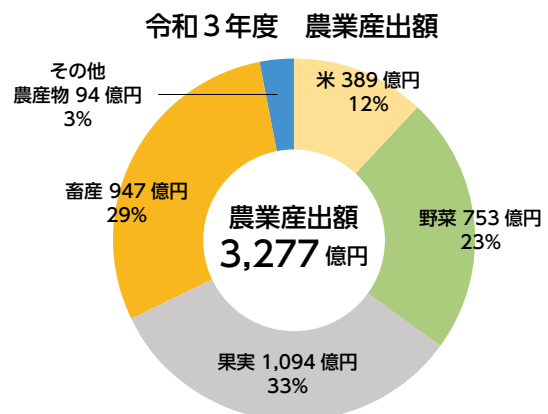
こうした立地条件、気象条件を生かして農林水産業がバランスよく営まれているのが特徴です。

2 青森県の農業について

青森県の西部地域は、恵まれた気温や日照を生かして、主にりんごの産地となっており、東部地域は夏季冷涼な条件を生かした野菜生産や畜産が盛んに行われています。

令和3年度の本県の農業産出額は3,277億円で、全国で第7位、東北で第1位（18年連続）となっています。

青森県といえば、まずは、生産量全国第1位のりんごですが、県内で栽培されているのは約50種、流通しているのは約40種



出典：農林水産省 生産農業所得統計



王林 (上)、ふじ (下)



紅はつみ 2018年登録

出典：青森県

といわれています。

りんごのほかにも、野菜も全国出荷量トップテンに入るものが多いです。

出荷量全国第1位は、大きさ、雪のような白さ、品質の良さが自慢のニンニクが国内出荷量の約7割、同じく、健康志向の高まりでますます注目のごぼうが約4割を占めています。

第2位は、青森県産野菜のエースのながいもで作付面積が日本一、国内出荷量の約

4割を占めます。第3位以下は、大根、カブ、人参と続き、意外なところでは、第6位にメロンがあります。



資料：農林中央金庫青森支店 (192)

出典：青森県

3 青森県農業信用基金協会の概要

理事9名（うち常勤1名）、監事2名、職員9名（嘱託職員、派遣職員を含む）による総務課、業務課の2課体制で業務運営しております。

今後も増員による体制強化のため、多様な雇用形態を含めて組織・機構改革に取り組んでまいります。

4 青森県農業信用基金協会の活動

令和4年度の保証引受額全体に占める農業資金の割合は66%であり、住宅ローンを主体とする生活資金の34%と比べて高くなっております。一方、残高ベースでは逆に生活資金が57%と過半を占めています。両資金の償還期間の違いなどからこのような構成になっておりますが、農業資金の保証を一丁目一番地としつつも、一定の収益確保のためには、生活資金の伸長も重要な課題であります。

このため、当協会では単独で行うJA及び銀行等への個別訪問や担当者会議のほか、毎月、JAバンク青森の本店機能を担



う農林中央金庫青森支店と定例会を開催したり、同支店主催のJA向け営業戦略会議に参画するなど、JA貸出強化の補完機能発揮や銀行等の動向も注視しつつ、保証条件見直しや事務改善等に迅速かつ継続的に取り組んでいます。

今後は、2年後に導入する全国統一の保証審査システムの効果的な活用を図るため、先行県域からの情報収集も進めながら、これまで以上に農業者等及び融資機関のニーズや負託に応えつつ、段階的な保証料率体系の整備等を行い、持続可能な業務運営に向けて取り組んでまいります。